

**第12期
決算公告**

株式会社マルク

貸借対照表
(2022年8月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	314,171	流動負債	91,710
現金及び預金	219,720	一年内返済予定の長期借入金	26,292
売掛金	86,032	未払金	30,426
その他	8,419	未払費用	30,426
		未払法人税等	1,017
		未払消費税等	1,632
		その他	1,914
固定資産	157,857	固定負債	303,276
有形固定資産	26,199	長期借入金	303,276
建物（純額）	19,910		
その他	6,289		
投資その他の資産	131,657		
投資有価証券	100,226		
長期前払費用	2,091		
その他	29,339		
		負債合計	394,986
		純資産の部	
		株主資本	77,059
		資本金	92,500
		資本剰余金	72,500
		利益剰余金	△87,940
		その他利益剰余金	△87,940
		繰越利益剰余金	△87,940
		評価・換算差額金等	△16
		その他有価証券評価差額金	△16
		純資産合計	77,042
資産合計	472,029	負債及び純資産合計	472,029

損益計算書

(2021年9月1日から2022年8月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売上高		510,780
売上原価		415,604
売上総利益		95,175
販売費及び一般管理費		202,978
営業損失		△107,802
営業外収益		
受取利息	115	
助成金収入	18,675	
その他	720	19,511
営業外費用		
支払利息	983	
その他	22	1,005
経常損失		△89,297
特別損失		
減損損失	1,773	1,773
税引前当期純利益		△91,071
法人税、住民税及び事業税	1,582	
法人税等調整額	-	1,582
当期純損失		△92,653

株主資本等変動計算書

(2021年9月1日から2022年8月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計
		資本準 備金	資本剰余 金合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計	
当期首残高	92,500	72,500	72,500	4,713	4,713	169,713
当期変動額						
当期純損失				△92,653	△92,653	△92,653
株主資本以 外の項目の 当期変動額 (純額)						
当期変動額 合計				△92,653	△92,653	△92,653
当期末残高	92,500	72,500	72,500	△87,940	△87,940	77,059

	評価・換算差額等		純資産合 計
	その他有 価証券 評価差 額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	-	-	169,713
当期変動額			
当期純損失		4,789	4,789
株主資本以 外の項目の 当期変動額 (純額)	△16	△16	△16
当期変動額 合計	△16	△16	△ 92,670
当期末残高	△16	△16	77,042

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

項 目	当事業年度 2021年9月1日から2022年8月31日まで
固定資産の減価償却方法	有形固定資産 定率法（ただし、当社は2007年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については定額法、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については定額法）を採用しております。
引当金の計上基準	貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については、貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
消費税等の会計処理	消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

2. 表示方法の変更に関する注記

該当事項はありません。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額 10,289 千円

(2) 担保に供している資産及び債務

該当事項はありません。

4. 損益計算書に関する注記

該当事項はありません。

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の数

普通株式 700,000 株

6. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

該当事項はありません。

7. リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産のほか、事務機器等の一部については、オペレーティング・リース契約により使用しております。

8. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、銀行等金融機関からの借入により資金を調達しております。なお、デリバティブ等の投機的な取引は行っておりません。

売掛金に係る信用リスクは、主要な取引先の状況を定期的にモニタリングし、取引相手ごとに期日及び残高を管理するとともに、財務状況等の悪化による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2022年8月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
投資有価証券 その他有価証券	100,226	100,226	—
資産計	100,226	100,226	—
長期借入金（1年内返済予定を含む）	329,568	329,568	▲3,069
負債計	329,568	329,568	▲3,069

（注）「現金及び預金」「売掛金」「未払金」については、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(3) 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

① 時価で貸借対照表に計上している金融商品

当事業年度（2022年8月31日）

区分	時価（千円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券 その他有価証券	236	99,990	—	100,226
資産計	236	99,990	—	100,226

② 時価で貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

当事業年度（2022年8月31日）

区分	時価（千円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
長期借入金（1年以内に返済 予定の長期借入金を含む）	—	326,498	—	326,498
負債計	—	326,498	—	326,498

（注）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

投資有価証券

上場株式は相場価格を用いて評価している。上場株式は活発な市場で取引されているため、その時価をレベル1の時価に分類しております。当社が保有する債券は、市場での取引頻度が低く、活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル2の時価に分類しております。

長期借入金

時価については、元利金の合計額と、当該債務の残存期間及び信用リスクを加味した利率を基に、割引現在価値法により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

9. 賃貸等不動産に関する注記

該当事項はありません。

10. 関連当事者との取引に関する注記

該当事項はありません。

11. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産 110円06銭
1株当たり当期純損失 △132円36銭

12. その他の注記

資産除去債務に関する注記

当社は、本部及び各拠点の不動産賃貸契約に基づき、退去時における原状回復に係る債務を資産除去債務として認識しております。なお、資産除去債務の負債計上に代えて、不動産賃貸契約に関連する敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当事業年度の負担に属する金額を費用に計上する方法によっております。

13. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

以上